

令和2年度

学校関係者評価報告書

令和3年3月

筑波研究学園専門学校  
学校関係者評価委員会

## ■令和2年度 学校関係者評価について

筑波研究学園専門学校では、平成20年度より自己点検・評価委員会を設置し、日頃の教育活動について自己点検・評価を実施してきました。また、平成25年度からは、企業及び業界団体や保護者、卒業生等で構成する学校関係者評価委員会を設置し、様々な立場を代表する委員の皆様から学校運営・教育活動実績報告書をもとにご議論いただき、本校の学校運営や教育活動に対して点検・評価していただいております。

以下、先般開催した学校関係者評価委員会の評価結果について報告します。

### 1. 実施日時・場所

令和3年3月17日(水) 13:30 ~ 15:30

筑波研究学園専門学校 1号館 会議室

### 2. 実施方法

(1) 実施組織：学校関係者評価委員会

#### ○委員長

古森 貞弘	茨城県立牛久高校元校長	教育関係
-------	-------------	------

#### ○評価委員

仁衡 琢磨	一般社団法人茨城研究開発型企業交流協会 会長 ペンギンシステム株式会社代表取締役社長	業界団体 (地元企業)
-------	---	----------------

高橋 浩	茨城県自動車整備振興会 教育部教育課 課長	業界団体
------	-----------------------	------

河野 正博	一般社団法人茨城県建築士事務所協会 常務理事 株式会社 河野正博建築設計事務所代表取締役	業界団体 (地元企業)
-------	---	----------------

飯野 晃	土浦商工会議所 中小企業相談所 所長	業界団体
------	--------------------	------

坂巻 操	筑波メディカルセンター病院 事務部外来一課課長	地元企業
------	-------------------------	------

倉田 和典	社会福祉法人えがお 理事 統括部長 兼 法人事務局長	地元企業
-------	----------------------------	------

大友 国彦	五籃会会長 (保護者会代表)	保護者
-------	----------------	-----

笠間 俊雄	輝峰同窓会会長 (卒業生代表)	卒業生
-------	-----------------	-----

#### ○学校関係

佐久 芳夫	学校法人筑波研究学園 理事長
-------	----------------

松下 博充	学校法人筑波研究学園 専務理事
-------	-----------------

野口 孝之	筑波研究学園専門学校 学校長
-------	----------------

大森 淳子	筑波研究学園専門学校 副校長 / こども未来学科 顧問
-------	-----------------------------

岡田 地余	筑波研究学園専門学校 ものづくり学科長・経営情報学科長
-------	-----------------------------

杉山由紀夫	筑波研究学園専門学校 自動車整備工学科長
-------	----------------------

原 智樹	筑波研究学園専門学校 建築環境学科長
------	--------------------

横瀬 和子	筑波研究学園専門学校 医療情報学科長
-------	--------------------

唐澤 優江	筑波研究学園専門学校 こども未来学科長
-------	---------------------

吉川 勝 筑波研究学園専門学校 総務部次長  
木我 直樹 筑波研究学園専門学校 総務部

- (2) 評価基準：文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠
- (3) 評価方法：令和元年度学校運営・教育活動実績報告書に対する学校関係者評価

### 3. 評価の項目

次の10項目について実施

- (1) 教育理念・目標
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献

### 4. 評価項目に対する評価

(1) 各項目について、次の4段階を基準とし、小数点第一位で評価しています。

4：適切      3：ほぼ適切      2：やや不適切      1：不適切

(小数点表示は評価者の平均点を記載)

(2) 委員会で提出された意見や質疑、提案事項等を記載

### 5. その他

令和2年度 学校自己点検・評価を併せてご覧ください。

## 項目 1 教育理念・目標

評価：3.9

- ① 3（学校の将来構想）、4（学校の理念等の周知）、5（教育目標・育成人材像）とも「5ヵ年計画」策定段階にあり、理事会、評議員会の協議・議決を経て、来年度の展開に期待。
- ② 5ヵ年計画が策定され学校の将来構想が明確になっていることはとても良い。ぜひ評価委員会等で5ヵ年計画を示されると良い。
- ③ コロナ禍による新状態で、社会の変化・動向に注視することは大切である。
- ④ 行動指針「TISTの基本理念」が明確である。5ヵ年計画策定は評価できる。
- ⑤ 教育目標、教育方針が明確になっている。
- ⑥ しっかりとした理念・目標と、それに基づいた戦略・運営をしていると認識する。

## 項目 2 学校運営

評価：3.7

- ① 上記の項目 1 を受けて「具体的展開・運営がなされているか？」が、この項の評価。  
3（運営組織・意思決定機能）は、常勤理事会が機能していることを評価。今後「5ヵ年計画」で TIST 再生の方向性が示されることに期待している。
- ② 事務業務の IT 化は企業においても課題の一つである。今、進めている具体的な実例を積極的に PR することで、地元企業からも IT に強い T I S T の地位が確立される。
- ③ IT 化、ペーパーレス化による業務効率 UP は重要ですが、紙媒体の資料保管が電子化よりも高効率な場合があると考える。
- ④ 学校事務の IT 化を進めてもらいたい。
- ⑤ 育成人材の更なる確保が望ましい。
- ⑥ しっかりとした計画と運営がおこなわれていると認識する。

## 項目 3 教育活動

評価：3.5

- ① 「5ヵ年計画」を受けて、職業実践専門課程 TIST の質が問われ、具体的運営、活動の質が評価される項目となる。  
8（外部関係者からの評価）、12（教員の確保）、13（先端的な知識の習得）、14（教職員の研修）は、TIST の方向性が一層問われている。
- ② 企業実習は企業任せにならないよう、学生に事前教育したうえで進めていくことが重要（当方で受け入れている保育実習は、事前指導がしっかりされていると認識）。また実習とインターンシップとの違いを明確にした方が良い。
- ③ 学校教職員の資質向上は良い取り組み。
- ④ 各専門分野の業界団体等からの意見を、教育課程編成に取り入れていることは評価できる。
- ⑤ 「5ヵ年計画」に基づいて進めて欲しい。
- ⑥ 短期間で学ぶようになるため、多様なレベルで入学する生徒たちのできるだけ多くに、実利的なスキル習得をさせるためのレベル別カスタムメイド課程・資格取得支援の更なる整備を期待する。

## 項目4 学修成果

評価：3.5

- ①項目4は、「項目1～3の実践活動」としての具体的評価項目。退学者の低減に向けて学生指導・保護者との連携し、経済困窮に一層の配慮を。4（卒業生・在校生の社会的な活躍）、5（卒業後のキャリア形成）については、専門学校としては一層期待される項目ではないか。
- ②どの業界でも人材で重視する点は人間性。どの学科もその部分を大切にして欲しい。しっかり面倒みる学校には信頼が集まり、企業側から求められる学校になる。
- ③コロナ禍のなか、例年通りの就職決定を維持するのは大変苦労があったかと思う。
- ④コロナ禍の中で、就職決定状況を維持出来たことは評価できる。
- ⑤さらなる向上を目指して進めて欲しい。
- ⑥さすが「専門」学校、と就職先から評価される学生の輩出を更に進めることを期待する。

## 項目5 学生支援

評価：3.5

- ①「面倒見のよいTIST」が反映されるかが大きなポイントになる。上記の項目3，項目4とともに、外部の衆目・評価の高い項目。「2（学生相談の体制）、3（経済的な支援体制）の担任外教員の支援、個別支援体制」は評価できる。
- ②コロナウィルス感染症のこともあり保護者とのやり取りが難しかったのかと思います。このような時にネットを活用した連絡網を整備すると学生も保護者も安心だと思う。
- ③保護者会の活動ができない状況が続いており、今後はオンラインの活用が必要だと感じる。
- ④学生支援機構等の公的支援制度の窓口設置や奨学金制度、学費免除・分割納付制度を整備していることはおおいに評価できる。
- ⑤かなり努力されていると思う。
- ⑥どの学校も、ウィルス禍の状況下で保護者との連携を十分に保つことに困難が生じていると認識している。貴校には他の学校に先駆けて課題解決を期待している。

## 項目6 教育環境

評価：3.4

- ①2のインターンシップは 専門学校において大事なテーマ。初代理事長の高良先生が全国的にもこの件の功労者であり、創立早々から大事な目標、今後の「改善策」に期待する。
- ②実習施設の確保は、各学科が企業との繋がりをどれだけ持っているかだと思います。既にそうされているかと思いますが、少なくとも卒業生を送り出した企業には早い時期に訪問することで信頼関係がつけられると思う。
- ③Wi-Fi 環境整備が整えば、学生により良い学習環境となる。
- ④インターンシップ等の環境整備を進めてもらいたい。
- ⑤学校計画のマスタープランを作成して、さらなる計画を進めて欲しい。
- ⑥環境についてはどこまでやれば 100 点、ということが無いものであるため、3 を選択する。引き続き環境整備を期待したい。

## 項目7 学生の受け入れ募集

評価：3.9

- ①今年度の募集成果はオープンキャンパスの改善に一定の成果が見られたと評価すべき。しかし、さらなる改善が期待される。この項は負債の原資獲得上 システム的にも 一層の改善課題である。
- ②関心のある人ばかりでなく、誰もが見てわかるような学校案内や資料を心掛けて欲しい。
- ③オープンキャンパス等、新規学生との交流が厳しい状況ではありますが SNS の活用で情報発信ができる体制整備ができていることは素晴らしいことである。
- ④少子化・ウィルス禍の難しい状況のなか、しっかりとした募集活動をされていると認識している。

## 項目8 財務

評価：3.6

- ①会計監査は重要な部門。財務基盤強化に向けては「面倒見の良い TIST」の実践に代わるものはない。学生・保護者の満足度アップが、ひいては安定した財務原資となる。
- ②5カ年計画の策定により、今後の財務基盤強化を目指していることが感じられる。
- ③魅力のある学校であることが学生の確保となり財務基盤の安定へつながると思う。
- ④努力されていると思う。
- ⑤財務については詳しく存じ上げないため、4や1と判断する。これまでの関わりのなかで感じた感覚として3を選択する。

## 項目9 法令等の遵守

評価：3.9

- ①3の「自己評価の実施と問題点の改善に努めているか」は、まさにPDCAサイクルの根幹。「年度内2度の「評価委員会」を十分に活用し、前期→後期と短期スパンの点検・改善が肝要
- ②自己点検は教職員一人ひとりの当事者意識、自らを改善する意識から始まるものと思います。この部分を教職員全員に周知させることが職は環境の向上に繋がりますし、学校の評価にも繋がるものと感じる。
- ③学校のイメージに関わる法令違反は、学校運営に大きな影響をおよぼすので定期的な教育と確認が重要となる。
- ④評価結果報告書のHP掲載は、おおいに評価できる。
- ⑤しっかり遵守されていると認識している。

## 項目10 社会貢献・地域貢献

評価：3.9

- ①外部に見せる顔として、専門学校としては大事な評価項目となる。一定の実践・活躍は評価できる。リカレント教育・講座等は外部の評価が期待できる。外部からの評価の接点評価項目である。
- ②対外的な活動だけでなく、学内の中においても環境美化等を指導することも大切。そのためには教職員の方も積極的にその後姿を見せることが大切だと思う。
- ③今後も、ボランティア活動を積極的に取り組んで欲しい。
- ④検定試験会場等、積極的な社会貢献がうかがえる。
- ⑤しっかりとされていると認識している。